

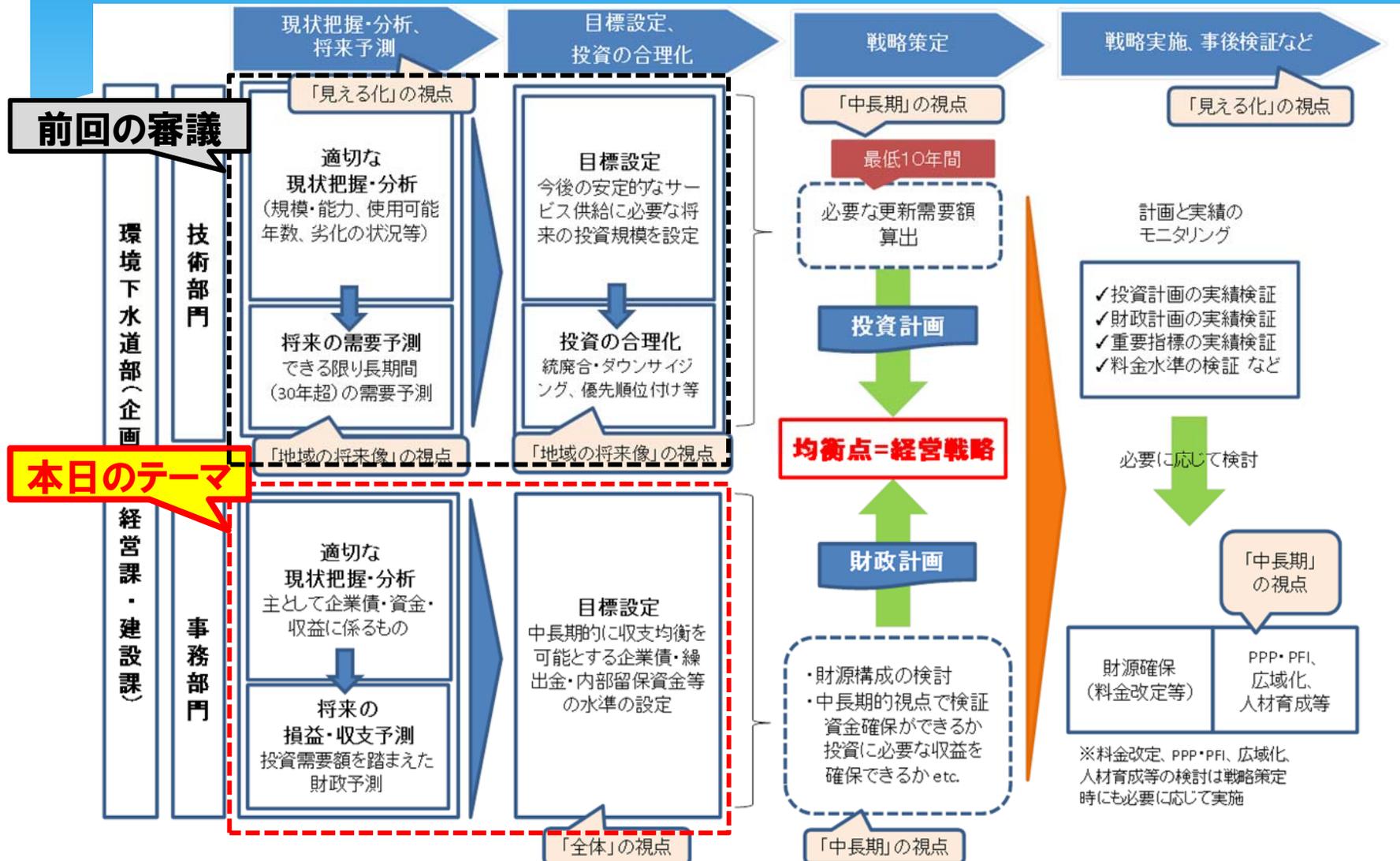
# 平成28年度 第3回鳥取市下水道等事業運営審議会

## 本日の議題

1. 経営比較分析
2. 経営指標の設定
3. 財政シミュレーション

平成28年11月4日  
下水道企画課（事務局）

# 経営戦略の全体像と策定のフロー



※経営戦略策定の前段階において、「地域のデザイン」「地域の将来像」を踏まえた事業の将来構想の検討(ビジョン・経営方針の策定)が必要である。

# 1. 經營比較分析

# 総務省が定める経営比較分析指標

経営指標名称	単位	算出式	望ましい方向性	指標の意味
<b>1. 経常収支比率</b>	(%)	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$	100%以上	<b>(経営の安全性)</b> 使用料や一般会計繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを示す指標。
<b>2. 累積欠損金比率</b>	(%)	$\frac{\text{当年度未処理欠損金}}{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}} \times 100$	0%以下	<b>(経営の安全性)</b> 営業活動により生じた損失で、複数年度にわたって累積した欠損金の状況を示す指標。
<b>3. 流動比率</b>	(%)	$\frac{\text{1年以内に現金化できる資産}}{\text{1年以内に支払うべき債務}} \times 100$	100%以上	<b>(経営の安全性)</b> 1年以内に支払うべき債務に対して支払可能な現金等がどの程度確保されているかを示す指標。
<b>4. 企業債残高対事業規模比率</b>	(%)	$\frac{\text{企業債現在高合計}-\text{一般会計負担額}}{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}-\text{雨水処理負担金}} \times 100$	経年比較 ・他市比較による	<b>(経営の健全性)</b> ・料金収入に対する企業債残高の割合。企業債残高の規模を示す指標。 ・投資規模や料金水準が適切か、必要な更新を先送りした結果数値が低く抑えられているに過ぎないかという視点での分析が必要。
<b>5. 経費回収率</b>	(%)	$\frac{\text{下水道使用料}}{\text{汚水処理費(公費負担分を除く)}} \times 100$	100%	<b>(経営の効率性)</b> ・使用料で賄うべき経費を、どの程度使用料で賄えているかを示す指標。 ・100%が理想的水準
<b>6. 汚水処理原価</b>	(円/m <sup>3</sup> )	$\frac{\text{汚水処理費(公費負担分を除く)}}{\text{年間有収水量}} \times 100$	↓	<b>(経営の効率性)</b> ・有収水量1m <sup>3</sup> 当たりの汚水処理に要した費用のこと。 ・低い方がよい。
<b>7. 施設利用率</b>	(%)	$\frac{\text{晴天時一日平均処理水量}}{\text{晴天時現在処理能力}} \times 100$	↑	<b>(経営の効率性)</b> ・施設の処理能力に対して、平均してどのくらい稼働しているかを示す指標。 ・高い方がよい。
<b>8. 水洗化率</b>	(%)	$\frac{\text{現在水洗便所設置済人口}}{\text{現在処理区域内人口}} \times 100$	100%	<b>(経営の効率性)</b> 下水道に接続できる状態にある人のうち、実際に接続(水洗便所を設置)している人の割合。

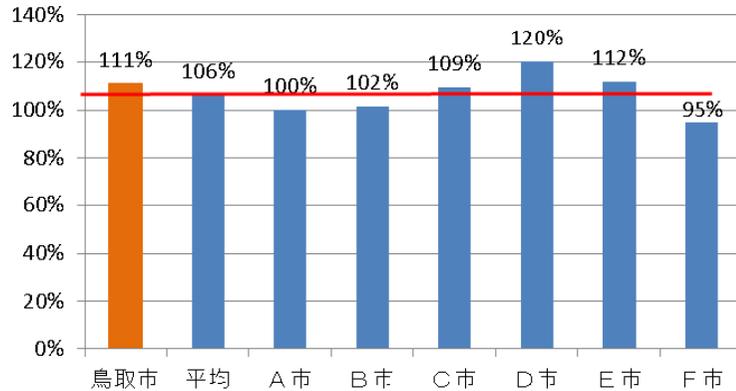
## 【類似団体の選定基準】

■総務省が定める類似団体区分のうち、公共下水道事業、特定環境保全公共下水道事業、農業集落排水事業が本市と同区分である5団体

■総務省が定める類似団体区分のうち、公共下水道事業、特定環境保全公共下水道事業、漁業集落排水事業が本市と同区分である1団体(計6団体)

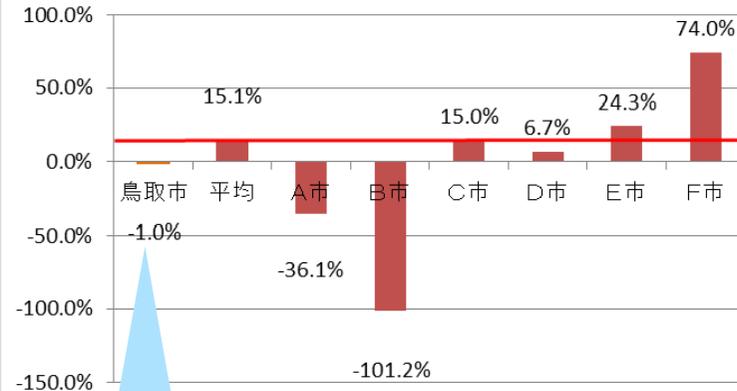
# 経営の安全性に関する経営比較分析

## 1. 経常収支比率



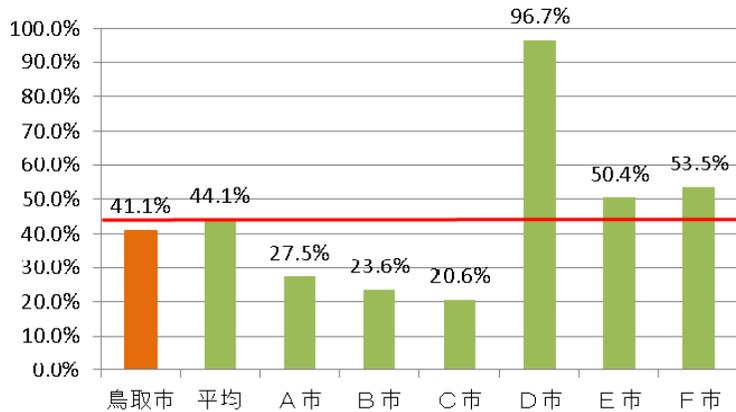
100%を超えており単年度収支は黒字となっている。  
また、類似団体の平均よりも良好な値と言える。

## 2. 累積欠損金比率



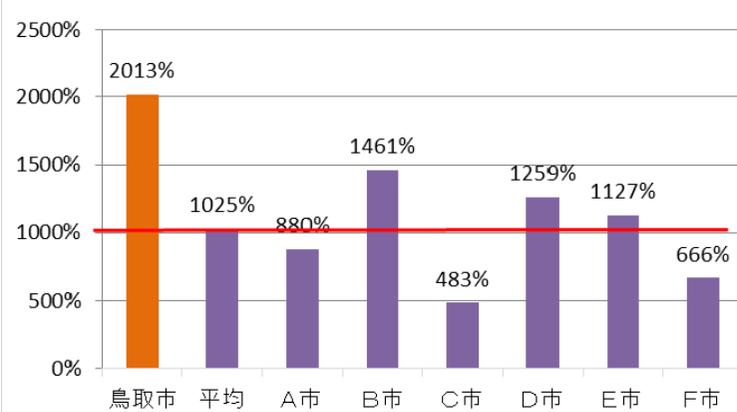
0%以下となっており累積欠損金は発生していない。

## 3. 流動比率



26年度の会計基準改正により流動比率は100%を下回っているが、  
料金収入や一般会計繰入金により支払い能力は確保されている。

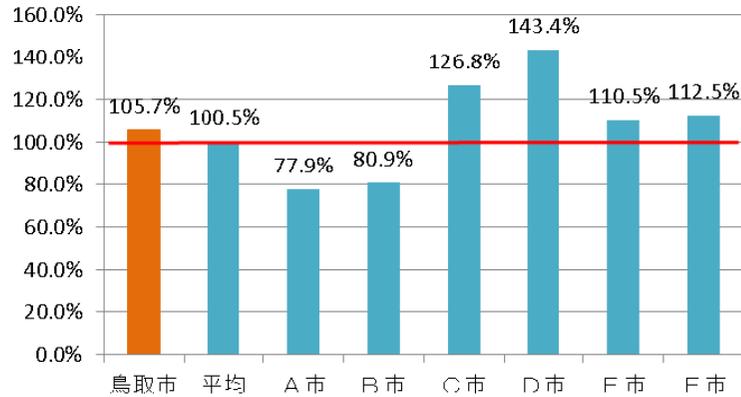
## 4. 企業債残高対事業規模比率



類似団体平均を大きく上回っているが、本市の場合は、一般会計負担分を最小限しか控除していないことに留意が必要。

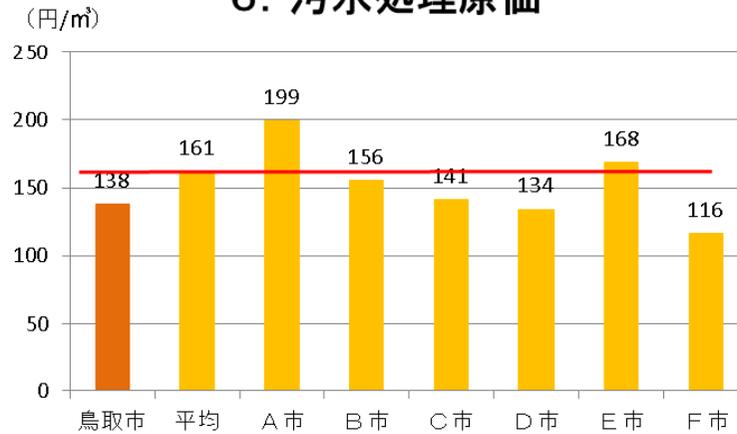
# 経営の効率性に関する経営比較分析

## 5. 経費回収率



資本費（減価償却費、支払利息等）や維持管理費のうち使用料で賄うべき経費については、使用料で回収できている。（別紙1）

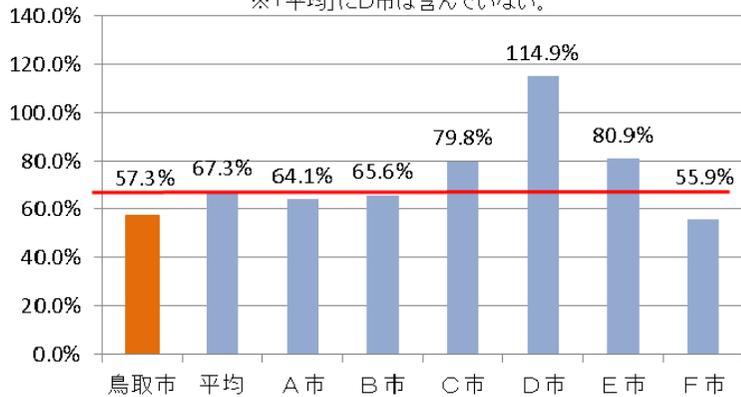
## 6. 汚水処理原価



資本費（減価償却費、支払利息等）や維持管理費のうち、汚水処理に係る費用は、比較的低い値となっている。

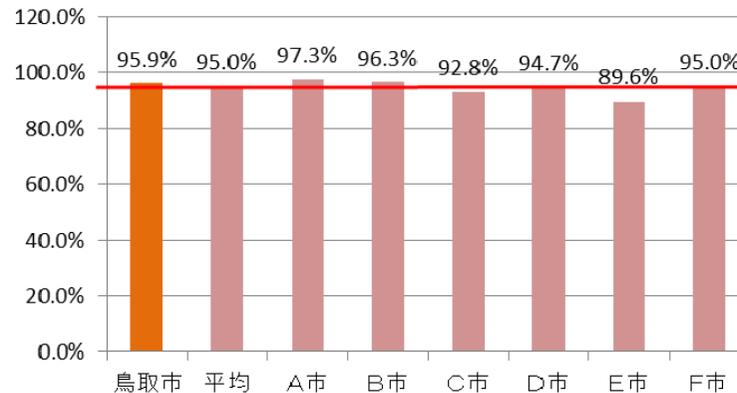
## 7. 施設利用率

※「平均」にD市は含んでいない。



類似団体と比べて数値が低くなっており、施設の統廃合等による数値の改善が必要。

## 8. 水洗化率

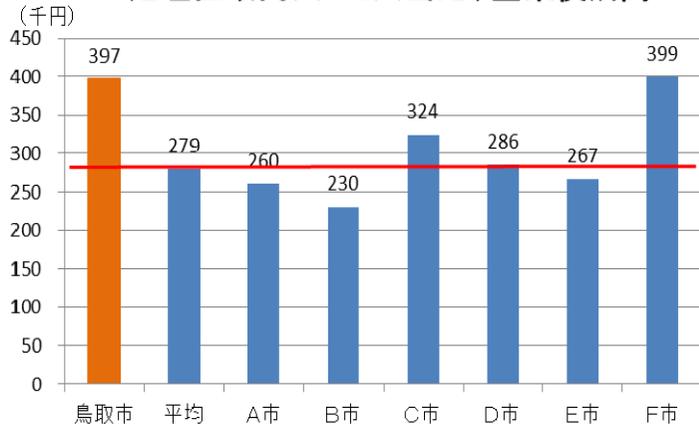


類似団体の平均とほぼ同水準となっている。

※27年度決算を基に作成。※平均は、類似団体（A市～F市）の平均です。但し、7.施設利用率はD市を除く。

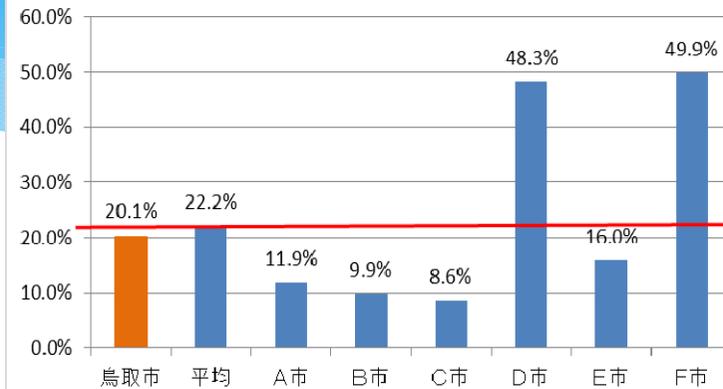
# その他の経営指標による現状分析

## 9. 処理区域内人口1人当たり企業債残高



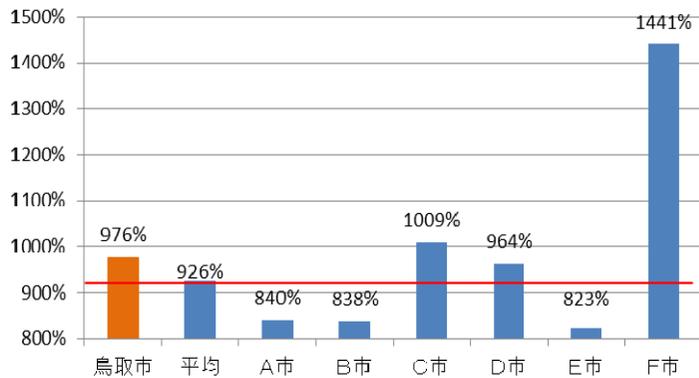
類似団体の中では1人当たりの企業債残高が高い。

## 10. 資金残高対事業収益比率



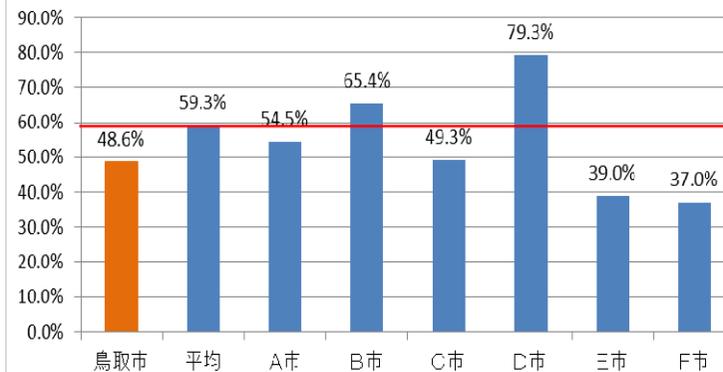
類似団体平均よりやや低いが、資金については一定水準を確保している。

## 11. 企業債残高対事業収益比率



類似団体平均よりも高く、他団体と比べてやや将来世代への負担が重くなっている。

## 12. 自己資本比率

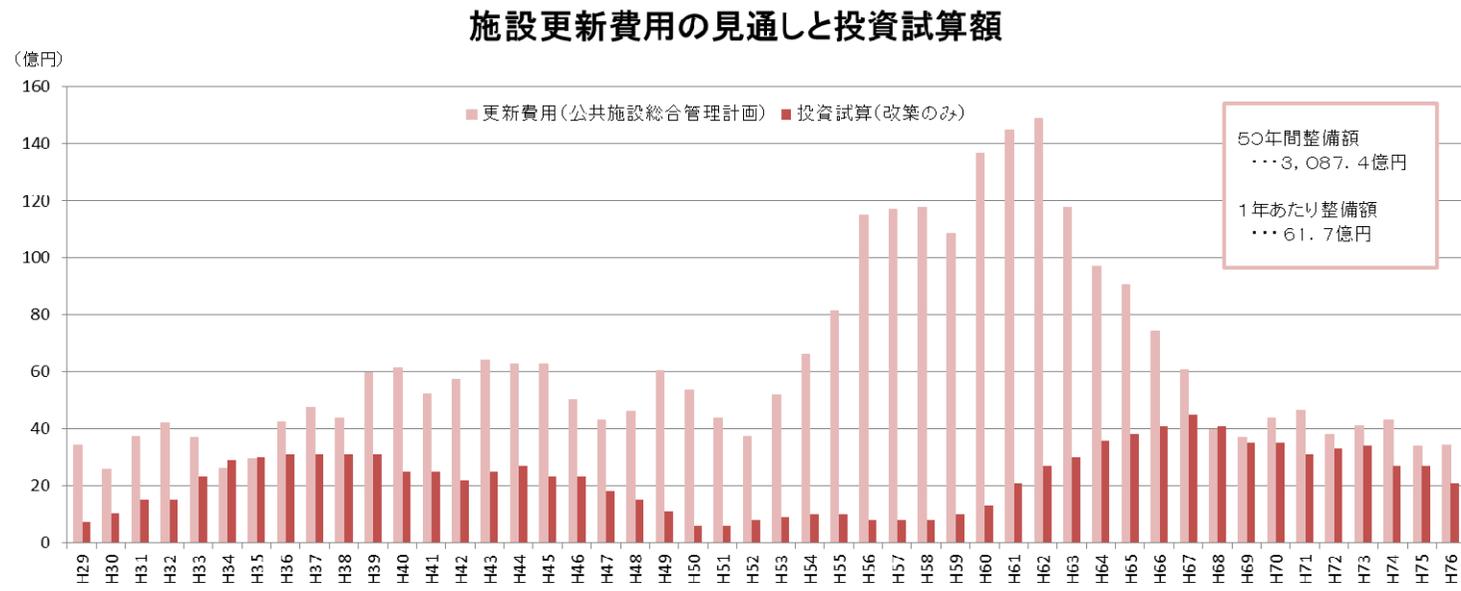
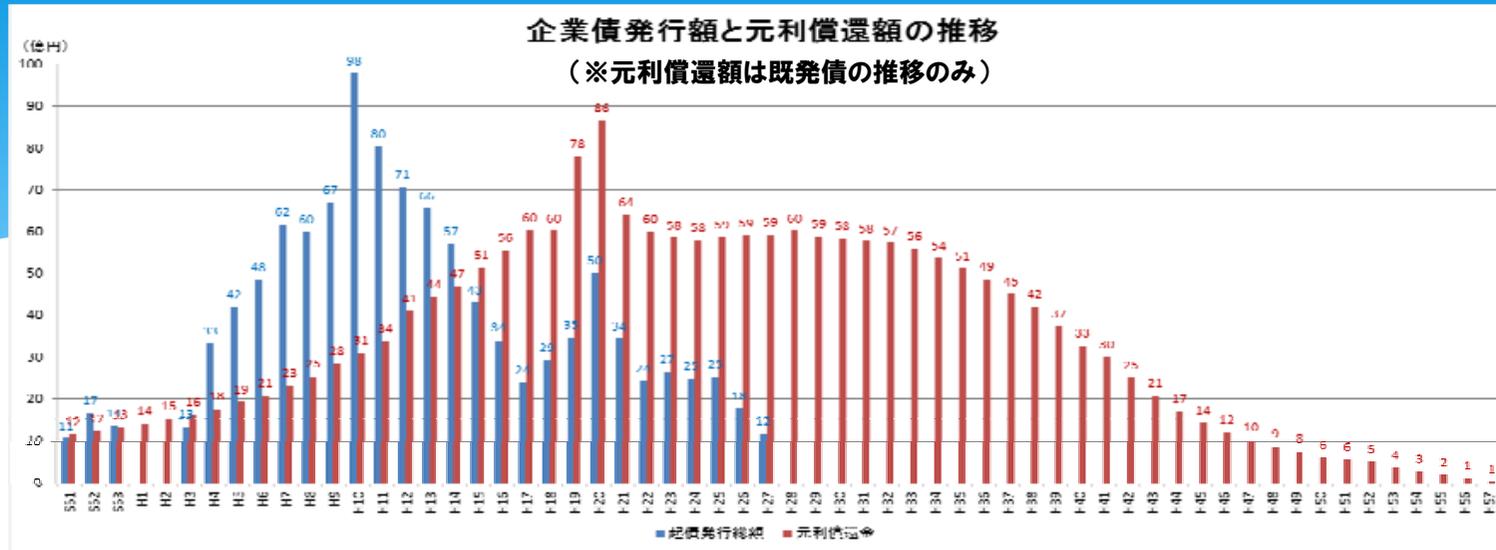


類似団体平均よりも低く、総資本のうち半分以上を負債が占めている。

※27年度決算をもとに作成。※平均は、類似団体（A市～F市）の平均値。

### その他の経営指標

経営指標名称	単位	算出式	望ましい方向性	指標の説明
<b>処理区域内人口1人当たり 企業債残高</b>	(千円)	$\frac{\text{企業債現在高}}{\text{処理区域内人口}} \times 100$	経年比較 他市比較 による	(債務の重さ) 処理区域内人口1人当たりの企業債残高のこと。
<b>資金残高対事業収益比率</b>	(%)	$\frac{\text{現金預金残高}}{\text{営業収益-受託工事収入+他会計補助金}} \times 100$	経年比較 他市比較 による	(資金繰り) 収入規模に対してどの程度の資金を持っているか。 日常の資金繰り確保の観点から、低すぎたはいけないが、高ければ高いほど良いというわけではない。
<b>企業債残高対事業収益比率</b>	(%)	$\frac{\text{企業債現在高}}{\text{営業収益-受託工事収入+他会計補助金}} \times 100$	経年比較 他市比較 による	(債務の重さ) 企業債が収入規模に見合ったものかを示す指標のこと。 過度に高い場合は将来世代への負担が重過ぎる可能性がある。
<b>自己資本比率</b>	(%)	$\frac{\text{自己資本}}{\text{負債資本合計}} \times 100$	↑	(経営の安全性) 総資産のどの程度を自己資本で賄っているかを表す指標のこと。高いほど良い。



※国土交通省水管理・国土保全局 下水道部下水道事業課「下水道事業中長期改築需要量算定支援ツール」を活用して作成

## 2. 経営目標と指標の設定

# 下水道等事業の基本理念と経営方針

## 《鳥取市のまちづくり理念》

「鳥取市を飛躍させる、発展させる」(鳥取市第10次総合計画)

## 《鳥取市のめざす将来像》

「いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる、自信と誇り・夢と希望に満ちた鳥取市」  
(鳥取市第10次総合計画)

## 《下水道等事業の基本理念》

「快適でゆとりある生活環境の実現」(鳥取市第10次総合計画)

## 《下水道等事業の経営方針》

**持続可能で安全・安心な下水道サービスを市民に提供する。**

# 経営方針実現のための経営目標

## 1. 収益性の確保（経営の安全性）

⇒将来にわたり安定的な事業の継続に不可欠な要素であるため。

## 2. 運転資金の確保（経営の安全性）

⇒日常業務に係る運転資金が不足した場合、事業の継続は不可能となるため。

## 3. 経費回収率の確保（経営の効率性）

⇒使用料で賄うべき経費は原則使用料で回収する。

## 4. 企業債負担の抑制（経営の健全性）

⇒将来世代への過度な負担転嫁とならないように配慮する。

# 財政に関する重要経営指標の設定

経営方針	経営目標	指標	設定目標	指標の算定	指標の説明
持続可能で安全・安心な下水道サービスの提供	収益性確保	経常収支比率	<b>100%以上を確保する。</b>	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$	<ul style="list-style-type: none"> <li>■使用料や一般会計繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを示す指標のこと。</li> <li>■100%未満の場合単年度収支が赤字であることを示しているため経営改善に向けた取組が必要となる。</li> </ul>
	運転資金の確保	資金残高対事業収益比率	<b>25%以上を確保する。</b>	$\frac{\text{現金預金残高}}{\text{事業収益}} \times 100$	<ul style="list-style-type: none"> <li>■業務上必要な資金を確保できているかをはかる指標のこと。</li> <li>■この指標が過度に低い場合は、日常の業務運営に支障を来しかねないことを意味するため、健全経営の観点から一定水準の比率を確保する必要がある。</li> <li>■日常の資金繰り確保の観点から、低すぎたはいけないが、高ければ高いほど良いというものでもない。</li> </ul>
	経費回収率の確保	経費回収率	<b>経費回収率100%以上を維持する。</b>	$\frac{\text{使用料原価}}{\text{汚水処理原価}} \times 100$	<ul style="list-style-type: none"> <li>■使用料で回収すべき経費をどの程度使用料で賄えているかを表した指標であり、料金水準を評価することが可能となる。</li> <li>■100%以上となる必要がある。100%を下回っている場合は汚水処理費用が使用料以外の収入によって賄われていることを意味することから、適正な使用料収入の確保及び汚水処理費の削減が必要となる。</li> </ul>
	企業債負担の抑制	企業債残高対事業収益比率	<b>類似団体平均の水準以下まで削減する。 (27年度：976%) →926%</b>	$\frac{\text{企業債残高}}{\text{事業収益}} \times 100$	<ul style="list-style-type: none"> <li>■企業債が収入規模に見合ったものかを示す指標のこと。</li> <li>■この指標が過度に高い場合は、将来世代への負担が重過ぎる可能性がある。</li> <li>■一般的に比率は低いほど良い。</li> </ul>

## 3. 財政シミュレーション

- ①標準更新を行う場合
- ②長寿命化を反映した場合

# 財政シミュレーション①

## —標準更新を実施した場合—

財政収支シミュレーション①

(単位:千円)

収益的収支	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度	38年度
営業収益	5,337,148	6,213,136	5,139,204	5,809,775	6,320,487	6,312,878	6,327,625	6,302,374	6,226,367	6,195,755	6,070,440	5,919,632	5,858,021
下水道使用料	2,940,425	2,869,675	3,049,605	3,156,928	3,130,201	3,099,725	3,069,402	3,032,889	2,996,592	2,960,513	2,924,653	2,889,011	2,851,718
他会計負担金	2,197,388	2,587,722	1,728,807	2,364,622	2,816,246	2,839,482	2,884,456	2,856,760	2,856,104	2,861,537	2,774,087	2,658,929	2,634,604
他会計補助金	155,620	610,585	316,673	244,111	332,449	332,399	332,349	332,299	332,299	332,299	330,299	330,299	330,299
その他営業収益	43,715	145,154	44,119	44,115	41,591	41,273	41,418	41,427	41,372	41,406	41,402	41,393	41,400
営業外収益	4,413,554	4,150,879	3,963,833	3,809,747	3,694,229	3,605,017	3,500,865	3,406,156	3,311,901	3,204,883	3,040,081	2,962,019	2,941,399
営業費用(減価償却費等含む)	7,773,728	7,786,079	7,825,656	7,757,985	7,691,920	7,673,281	7,620,530	7,587,364	7,548,677	7,484,045	7,320,498	7,295,231	7,358,166
営業費用	2,016,714	2,160,259	2,226,461	2,323,111	2,385,902	2,397,689	2,401,456	2,405,010	2,407,991	2,411,309	2,414,519	2,418,599	2,421,069
減価償却費	5,721,003	5,572,975	5,470,101	5,324,611	5,176,924	5,146,497	5,089,980	5,053,260	5,011,591	4,943,642	4,776,885	4,747,538	4,808,003
資産減耗費	36,012	52,845	129,094	110,263	129,094	129,094	129,094	129,094	129,094	129,094	129,094	129,094	129,094
営業外費用	1,642,277	1,562,120	1,498,110	1,365,457	1,270,456	1,191,243	1,111,802	1,033,962	949,667	866,355	788,763	724,142	669,720
特別利益	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特別損失	60,605	28,564	28,229	28	28	0	0	0	0	0	0	0	0
<b>当年度純利益</b>	<b>274,092</b>	<b>987,252</b>	<b>▲248,955</b>	<b>496,055</b>	<b>1,052,312</b>	<b>1,053,371</b>	<b>1,096,157</b>	<b>1,087,204</b>	<b>1,039,924</b>	<b>1,050,238</b>	<b>1,001,260</b>	<b>882,278</b>	<b>771,534</b>
前年度繰越剰余金	▲1,358,159	▲948,343	38,909	▲210,046	286,009	1,338,321	2,391,692	3,487,849	4,575,053	5,614,977	6,665,215	7,666,475	8,528,753
<b>当年度繰越剰余金</b>	<b>▲948,342</b>	<b>38,909</b>	<b>▲210,046</b>	<b>286,009</b>	<b>1,338,321</b>	<b>2,391,692</b>	<b>3,487,849</b>	<b>4,575,053</b>	<b>5,614,977</b>	<b>6,665,215</b>	<b>7,666,475</b>	<b>8,528,753</b>	<b>9,300,287</b>

資本的収支	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度	38年度
資本的収入	3,438,939	3,465,545	4,619,910	4,557,104	5,897,935	6,042,054	6,568,138	5,025,617	3,775,189	3,672,946	4,991,346	5,073,467	5,340,456
資本的支出	6,194,503	6,679,062	7,036,420	7,672,809	9,411,733	9,604,373	10,211,327	8,619,890	7,273,980	7,088,843	8,412,007	8,335,590	8,582,022
建設改良費	1,912,725	2,282,656	2,484,823	3,024,390	4,688,175	4,829,925	5,358,857	3,776,430	2,551,618	2,449,149	3,818,340	3,911,840	4,265,510
企業債償還金	4,281,778	4,396,260	4,547,519	4,647,595	4,721,558	4,772,448	4,850,470	4,841,460	4,720,362	4,637,694	4,591,667	4,421,750	4,314,512
その他	0	146	4,078	824	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
収支差引	▲2,755,564	▲3,213,517	▲2,416,510	▲3,115,705	▲3,513,799	▲3,562,318	▲3,643,189	▲3,594,273	▲3,498,791	▲3,415,897	▲3,420,661	▲3,262,123	▲3,241,565
繰越工事資金	114,282	147,069											
<b>資本的収支不足額</b>	<b>▲2,869,846</b>	<b>▲3,360,586</b>	<b>▲2,416,510</b>	<b>▲3,115,705</b>	<b>▲3,513,799</b>	<b>▲3,562,318</b>	<b>▲3,643,189</b>	<b>▲3,594,273</b>	<b>▲3,498,791</b>	<b>▲3,415,897</b>	<b>▲3,420,661</b>	<b>▲3,262,123</b>	<b>▲3,241,565</b>

補てん財源	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度	38年度
補てん可能額	3,467,606	4,327,416	3,436,291	4,139,877	4,626,927	4,717,940	4,792,693	4,803,417	4,817,347	4,921,158	4,986,178	4,905,883	4,925,195
補てん使用額	2,869,846	3,360,586	2,416,510	3,115,705	3,513,799	3,562,318	3,643,189	3,594,273	3,498,791	3,415,897	3,420,661	3,262,123	3,241,565
内部留保資金	597,760	966,830	1,019,780	1,024,172	1,113,128	1,155,622	1,149,504	1,209,144	1,318,558	1,505,261	1,565,517	1,643,759	1,683,629
企業債残高	74,243,337	71,319,477	69,390,658	67,087,463	65,265,594	63,420,827	61,803,731	59,317,738	56,295,436	53,264,695	50,989,673	48,926,461	47,143,681
1人当たり企業債残高	415	397	387	374	364	354	345	332	316	300	288	277	268

●経営に関する重要指標	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度	38年度
1. 経常収支比率	104%	111%	98%	105%	112%	112%	113%	113%	112%	113%	112%	111%	110%
2. 資金残高対事業収益比率	21.6%	20.1%	26.9%	26.0%	24.6%	24.8%	24.2%	24.4%	25.4%	27.3%	27.8%	28.9%	29.3%
3. 経費回収率	85.5%	105.7%	105.5%	110.9%	111.7%	99.0%	98.9%	98.4%	98.0%	97.8%	98.3%	97.6%	96.5%
4. 企業債残高対事業収益比率	1144%	976%	1126%	993%	907%	889%	872%	846%	819%	785%	772%	764%	748%

目標未達成

# 財政シミュレーション②

## —長寿命化を実施した場合—

長寿命化反映

財政収支シミュレーション②

(単位:千円)

収益的収支	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度	38年度
営業収益	5,337,148	6,213,136	5,139,204	5,809,775	6,320,487	6,312,878	6,327,625	6,302,374	6,226,367	6,176,244	6,050,969	5,883,322	5,800,419
下水道使用料	2,940,425	2,869,675	3,049,605	3,156,928	3,130,201	3,099,725	3,069,402	3,032,889	2,996,592	2,960,513	2,924,653	2,889,011	2,851,718
他会計負担金	2,197,388	2,587,722	1,728,807	2,364,622	2,816,246	2,839,482	2,884,456	2,895,760	2,856,104	2,842,026	2,754,615	2,622,618	2,577,001
他会計補助金	155,620	610,585	316,673	244,111	332,449	332,399	332,349	332,299	332,299	332,299	330,299	330,299	330,299
その他営業収益	43,715	145,154	44,119	44,115	41,591	41,273	41,418	41,427	41,372	41,406	41,402	41,393	41,400
営業外収益	4,413,554	4,150,879	3,963,833	3,809,747	3,694,229	3,568,184	3,430,520	3,300,214	3,205,342	3,125,191	2,990,730	2,920,414	2,904,886
営業費用(減価償却費等含む)	7,773,728	7,786,079	7,825,656	7,757,985	7,691,920	7,608,041	7,498,656	7,404,442	7,364,464	7,345,331	7,234,195	7,223,381	7,295,208
営業費用	2,016,714	2,160,259	2,226,461	2,323,111	2,385,902	2,397,689	2,401,456	2,405,010	2,407,991	2,411,309	2,414,519	2,418,599	2,421,069
減価償却費	5,721,003	5,572,975	5,470,101	5,324,611	5,176,924	5,081,258	4,968,106	4,870,338	4,827,378	4,804,928	4,690,582	4,675,688	4,745,044
資産減耗費	36,012	52,845	129,094	110,263	129,094	129,094	129,094	129,094	129,094	129,094	129,094	129,094	129,094
営業外費用	1,642,277	1,562,120	1,498,110	1,365,457	1,270,456	1,181,414	1,093,438	1,005,489	921,095	845,451	776,246	713,057	659,849
特別利益	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特別損失	60,605	28,564	28,229	28	28	0	0	0	0	0	0	0	0
<b>当年度純利益</b>	<b>274,092</b>	<b>987,252</b>	<b>▲248,955</b>	<b>496,055</b>	<b>1,052,312</b>	<b>1,091,805</b>	<b>1,166,050</b>	<b>1,192,657</b>	<b>1,146,150</b>	<b>1,110,652</b>	<b>1,031,258</b>	<b>867,298</b>	<b>750,248</b>
前年度繰越剰余金	▲1,358,159	▲948,343	38,909	▲210,046	286,009	1,338,321	2,429,926	3,595,977	4,788,634	5,934,784	7,045,436	8,076,694	8,943,992
<b>当年度繰越剰余金</b>	<b>▲948,342</b>	<b>38,909</b>	<b>▲210,046</b>	<b>286,009</b>	<b>1,338,321</b>	<b>2,429,926</b>	<b>3,595,977</b>	<b>4,788,634</b>	<b>5,934,784</b>	<b>7,045,436</b>	<b>8,076,694</b>	<b>8,943,992</b>	<b>9,694,240</b>

資本的収支	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度	38年度
資本的収入	3,438,939	3,465,545	4,619,910	4,557,104	4,070,730	4,361,279	4,687,515	5,007,212	5,238,339	5,226,562	5,219,737	5,207,473	5,111,961
資本的支出	6,194,503	6,679,208	7,040,498	7,673,633	7,537,383	7,882,923	8,283,527	8,602,990	8,778,480	8,692,093	8,619,656	8,421,271	8,263,756
建設改良費	1,912,725	2,282,656	2,484,823	3,024,390	<b>2,811,825</b>	<b>3,106,475</b>	<b>3,429,057</b>	<b>3,757,530</b>	<b>4,054,118</b>	<b>4,050,399</b>	<b>4,058,790</b>	<b>4,060,890</b>	<b>4,047,060</b>
企業債償還金	4,281,778	4,396,260	4,547,519	4,647,595	4,721,558	4,772,448	4,850,470	4,841,460	4,720,362	4,637,694	4,556,866	4,356,381	4,212,696
その他	0	146	4,078	824	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
収支差引	▲2,755,564	▲3,213,663	▲2,420,588	▲3,116,529	▲3,466,654	▲3,521,643	▲3,596,011	▲3,595,778	▲3,540,141	▲3,465,531	▲3,399,919	▲3,213,798	▲3,151,795
繰越工事資金	114,282	147,069											
<b>資本的収支不足額</b>	<b>▲2,869,846</b>	<b>▲3,360,732</b>	<b>▲2,420,588</b>	<b>▲3,116,529</b>	<b>▲3,466,654</b>	<b>▲3,521,643</b>	<b>▲3,596,011</b>	<b>▲3,595,778</b>	<b>▲3,540,141</b>	<b>▲3,465,531</b>	<b>▲3,399,919</b>	<b>▲3,213,798</b>	<b>▲3,151,795</b>

補てん財源	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度	38年度
補てん可能額	3,467,806	4,327,416	3,436,291	4,135,799	4,640,629	4,799,214	4,939,399	5,006,215	5,012,531	5,045,489	5,042,333	4,947,345	4,961,018
補てん使用額	2,869,846	3,360,566	2,420,588	3,116,529	3,466,654	3,521,643	3,596,011	3,595,778	3,540,141	3,465,531	3,399,919	3,213,798	3,151,795
内部留保資金	597,760	966,830	1,015,702	1,019,270	1,173,975	1,277,571	1,343,388	1,410,437	1,472,390	1,579,958	1,642,414	1,733,547	1,809,223
企業債残高	74,243,337	71,319,477	69,390,658	67,087,463	64,282,694	61,584,427	58,956,431	56,480,538	54,225,236	52,033,195	49,918,875	47,999,132	46,203,767
1人当たり企業債残高	415	397	387	374	359	344	329	316	305	293	282	272	263

●経営に関する重要指標	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度	38年度
1. 経常収支比率	104%	111%	98%	105%	112%	112%	114%	114%	114%	114%	113%	111%	109%
2. 資金残高対事業収益比率	21.6%	20.1%	26.9%	26.0%	25.2%	26.0%	26.2%	26.5%	27.1%	28.2%	28.9%	30.4%	31.6%
3. 経費回収率	85.5%	105.7%	105.5%	110.9%	111.7%	<b>99.5%</b>	<b>99.8%</b>	<b>99.6%</b>	<b>99.3%</b>	<b>98.8%</b>	<b>98.9%</b>	<b>98.1%</b>	<b>96.9%</b>
4. 企業債残高対事業収益比率	1144%	976%	1126%	993%	893%	864%	833%	808%	791%	771%	759%	755%	741%

目標未達成

# 財政シミュレーション②-1

営業費用2%削減

財政収支シミュレーション②-1

(単位:千円)

収益的収支	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度	38年度
営業収益	5,337,148	6,213,136	5,139,204	5,809,775	6,320,487	6,301,672	6,316,598	6,291,335	6,215,316	6,165,175	6,039,887	5,872,226	5,789,312
下水道使用料	2,940,425	2,869,675	3,049,605	3,156,928	3,130,201	3,099,725	3,069,402	3,032,889	2,996,592	2,960,513	2,924,653	2,889,011	2,851,718
他会計負担金	2,197,388	2,587,722	1,728,807	2,364,622	2,816,246	2,830,161	2,875,315	2,886,606	2,846,938	2,832,842	2,745,419	2,613,408	2,567,780
他会計補助金	155,620	610,585	316,673	244,111	332,449	330,514	330,464	330,414	330,414	330,414	328,414	328,414	328,414
その他営業収益	43,715	145,154	44,119	44,115	41,591	41,273	41,418	41,427	41,372	41,406	41,402	41,393	41,400
営業外収益	4,413,554	4,150,879	3,963,833	3,809,747	3,694,229	3,568,184	3,430,520	3,300,214	3,205,342	3,125,191	2,990,730	2,920,414	2,904,886
営業費用(減価償却費等含む)	7,773,728	7,786,079	7,825,656	7,757,985	7,685,514	7,560,610	7,451,556	7,357,271	7,317,233	7,298,034	7,186,834	7,175,938	7,247,716
<b>営業費用</b>	<b>2,016,714</b>	<b>2,160,259</b>	<b>2,226,461</b>	<b>2,323,111</b>	<b>2,379,496</b>	<b>2,350,258</b>	<b>2,354,356</b>	<b>2,357,839</b>	<b>2,360,761</b>	<b>2,364,012</b>	<b>2,367,158</b>	<b>2,371,156</b>	<b>2,373,577</b>
減価償却費	5,721,003	5,572,975	5,470,101	5,324,611	5,176,924	5,081,258	4,968,106	4,870,338	4,827,378	4,804,928	4,690,582	4,675,688	4,745,044
資産減耗費	36,012	52,845	129,094	110,263	129,094	129,094	129,094	129,094	129,094	129,094	129,094	129,094	129,094
営業外費用	1,642,277	1,562,120	1,498,110	1,365,457	1,270,456	1,181,298	1,093,324	1,005,375	920,981	845,336	776,131	712,942	659,734
特別利益	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特別損失	60,605	28,564	28,229	28	28	0	0	0	0	0	0	0	0
<b>当年度純利益</b>	<b>274,092</b>	<b>987,252</b>	<b>▲248,955</b>	<b>498,055</b>	<b>1,058,718</b>	<b>1,127,946</b>	<b>1,202,238</b>	<b>1,228,903</b>	<b>1,182,444</b>	<b>1,146,995</b>	<b>1,067,652</b>	<b>903,760</b>	<b>786,748</b>
前年度繰越剰余金	▲1,358,159	▲948,343	38,909	▲210,046	286,009	1,344,727	2,472,673	3,674,911	4,903,815	6,086,259	7,233,254	8,300,906	9,204,666
<b>当年度繰越剰余金</b>	<b>▲948,342</b>	<b>38,909</b>	<b>▲210,046</b>	<b>286,009</b>	<b>1,344,727</b>	<b>2,472,673</b>	<b>3,674,911</b>	<b>4,903,815</b>	<b>6,086,259</b>	<b>7,233,254</b>	<b>8,300,906</b>	<b>9,204,666</b>	<b>9,991,414</b>

資本的収支	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度	38年度
資本的収入	3,438,939	3,465,545	4,619,910	4,557,104	4,070,730	4,361,279	4,687,515	5,007,212	5,238,339	5,226,562	5,219,737	5,207,473	5,111,961
資本的支出	6,194,503	6,679,062	7,036,420	7,672,809	7,535,383	7,880,923	8,281,527	8,600,990	8,776,480	8,690,093	8,617,656	8,419,271	8,261,756
<b>建設改良費</b>	<b>1,912,725</b>	<b>2,282,656</b>	<b>2,484,823</b>	<b>3,024,390</b>	<b>2,811,825</b>	<b>3,106,475</b>	<b>3,429,057</b>	<b>3,757,530</b>	<b>4,054,118</b>	<b>4,050,399</b>	<b>4,058,790</b>	<b>4,060,890</b>	<b>4,047,060</b>
企業債償還金	4,281,778	4,396,260	4,547,519	4,647,595	4,721,558	4,772,448	4,850,470	4,841,460	4,720,362	4,637,694	4,556,866	4,356,381	4,212,696
その他	0	146	4,078	824	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
収支差引	▲2,755,564	▲3,213,517	▲2,416,510	▲3,115,705	▲3,464,654	▲3,519,643	▲3,594,011	▲3,593,778	▲3,538,141	▲3,463,531	▲3,397,919	▲3,211,798	▲3,149,795
繰越工事資金	114,282	147,069											
<b>資本的収支不足額</b>	<b>▲2,869,846</b>	<b>▲3,360,586</b>	<b>▲2,416,510</b>	<b>▲3,115,705</b>	<b>▲3,464,654</b>	<b>▲3,519,643</b>	<b>▲3,594,011</b>	<b>▲3,593,778</b>	<b>▲3,538,141</b>	<b>▲3,463,531</b>	<b>▲3,397,919</b>	<b>▲3,211,798</b>	<b>▲3,149,795</b>

補てん財源	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度	38年度
補てん可能額	3,467,608	4,327,416	3,436,291	4,139,877	4,651,937	4,848,662	5,026,838	5,131,702	5,176,114	5,247,216	5,282,256	5,225,531	5,277,505
補てん使用額	2,869,846	3,360,586	2,416,510	3,115,705	3,464,654	3,519,643	3,594,011	3,593,778	3,538,141	3,463,531	3,397,919	3,211,798	3,149,795
内部留保資金	597,760	966,830	1,019,780	1,024,172	1,187,283	1,329,019	1,432,826	1,537,924	1,637,973	1,783,685	1,884,337	2,013,733	2,127,710
<b>企業債残高</b>	<b>74,243,337</b>	<b>71,319,477</b>	<b>69,380,658</b>	<b>67,087,463</b>	<b>64,282,694</b>	<b>61,584,427</b>	<b>58,956,431</b>	<b>56,460,538</b>	<b>54,225,236</b>	<b>52,033,195</b>	<b>49,918,875</b>	<b>47,999,132</b>	<b>46,203,767</b>
1人当たり企業債残高	415	397	387	374	359	344	329	316	305	293	282	272	263

●経営に関する重要指標	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度	38年度
1. 経常収支比率	104%	111%	98%	105%	112%	113%	114%	115%	114%	114%	113%	111%	110%
2. 資金残高対事業収益比率	21.6%	20.1%	26.9%	26.0%	25.3%	26.6%	27.3%	28.1%	29.3%	31.0%	32.3%	34.5%	36.3%
3. <b>経費回収率</b>	85.5%	105.7%	105.5%	110.9%	111.7%	100.8%	101.1%	101.0%	100.6%	100.1%	100.2%	<b>99.5%</b>	<b>98.3%</b>
4. 企業債残高対事業収益比率	1144%	976%	1126%	993%	893%	866%	834%	809%	792%	772%	761%	756%	742%

目標未達成

# 財政シミュレーション②-2

料金収入2%改定

財政収支シミュレーション②-2

													(単位:千円)	
収益的収支	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度	38年度	
営業収益	5,337,148	6,213,136	5,139,204	5,809,775	6,320,487	6,301,672	6,316,598	6,291,335	6,215,316	6,165,175	6,039,887	5,930,006	5,846,346	
下水道使用料	2,940,425	2,869,675	3,049,605	3,156,928	3,130,201	3,099,725	3,069,402	3,032,889	2,996,592	2,960,513	2,924,653	<b>2,946,791</b>	<b>2,908,753</b>	
他会計負担金	2,197,388	2,587,722	1,728,807	2,364,622	2,816,246	2,830,161	2,875,315	2,886,606	2,846,938	2,832,842	2,745,419	2,613,408	2,567,780	
他会計補助金	155,620	610,585	316,673	244,111	332,449	330,514	330,464	330,414	330,414	330,414	328,414	328,414	328,414	
その他営業収益	43,715	145,154	44,119	44,115	41,591	41,273	41,418	41,427	41,372	41,406	41,402	41,393	41,400	
営業外収益	4,413,554	4,150,879	3,963,833	3,809,747	3,694,229	3,568,184	3,430,520	3,300,214	3,205,342	3,125,191	2,990,730	2,920,414	2,904,886	
営業費用(減価償却費等含む)	7,773,728	7,786,079	7,825,656	7,757,985	7,685,514	7,560,610	7,451,556	7,357,271	7,317,233	7,298,034	7,186,834	7,175,938	7,247,716	
営業費用	2,016,714	2,160,259	2,226,461	2,323,111	2,379,496	<b>2,350,258</b>	<b>2,354,356</b>	<b>2,357,839</b>	<b>2,360,761</b>	<b>2,364,012</b>	<b>2,367,158</b>	<b>2,371,156</b>	<b>2,373,577</b>	
減価償却費	5,721,003	5,572,975	5,470,101	5,324,611	5,176,924	5,081,258	4,968,106	4,870,338	4,827,378	4,804,928	4,690,582	4,675,688	4,745,044	
資産減耗費	36,012	52,845	129,094	110,263	129,094	129,094	129,094	129,094	129,094	129,094	129,094	129,094	129,094	
営業外費用	1,642,277	1,562,120	1,498,110	1,365,457	1,270,456	1,181,298	1,093,324	1,005,375	920,981	845,336	776,131	712,942	659,734	
特別利益	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
特別損失	60,605	28,564	28,229	28	28	0	0	0	0	0	0	0	0	
<b>当年度純利益</b>	<b>274,092</b>	<b>987,252</b>	<b>▲248,955</b>	<b>496,055</b>	<b>1,058,718</b>	<b>1,127,946</b>	<b>1,202,238</b>	<b>1,228,903</b>	<b>1,182,444</b>	<b>1,146,995</b>	<b>1,067,652</b>	<b>961,540</b>	<b>843,782</b>	
前年度繰越剰余金	▲1,358,159	▲948,343	38,909	▲210,046	286,009	1,344,727	2,472,673	3,674,911	4,903,815	6,086,259	7,233,254	8,300,906	9,262,446	
<b>当年度繰越剰余金</b>	<b>▲948,342</b>	<b>38,909</b>	<b>▲210,046</b>	<b>286,009</b>	<b>1,344,727</b>	<b>2,472,673</b>	<b>3,674,911</b>	<b>4,903,815</b>	<b>6,086,259</b>	<b>7,233,254</b>	<b>8,300,906</b>	<b>9,262,446</b>	<b>10,108,229</b>	

資本的収支	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度	38年度
資本的収入	3,438,939	3,465,545	4,619,910	4,557,104	4,070,730	4,361,279	4,687,515	5,007,212	5,238,339	5,226,562	5,219,737	5,207,473	5,111,961
資本的支出	6,194,503	6,679,062	7,036,420	7,672,809	7,535,383	7,880,923	8,281,527	8,600,990	8,776,480	8,690,093	8,617,656	8,419,271	8,261,756
建設改良費	1,912,725	2,282,656	2,484,823	3,024,390	<b>2,811,825</b>	<b>3,106,475</b>	<b>3,429,057</b>	<b>3,757,530</b>	<b>4,054,118</b>	<b>4,050,399</b>	<b>4,058,790</b>	<b>4,060,890</b>	<b>4,047,060</b>
企業債償還金	4,281,778	4,396,260	4,547,519	4,647,595	4,721,558	4,772,448	4,850,470	4,841,460	4,720,362	4,637,694	4,556,866	4,356,381	4,212,696
その他	0	146	4,078	824	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
収支差引	▲2,755,564	▲3,213,517	▲2,416,510	▲3,115,705	▲3,464,654	▲3,519,643	▲3,594,011	▲3,593,778	▲3,538,141	▲3,463,531	▲3,397,919	▲3,211,798	▲3,149,795
繰越工事資金	114,282	147,069											
<b>資本的収支不足額</b>	<b>▲2,869,846</b>	<b>▲3,360,588</b>	<b>▲2,416,510</b>	<b>▲3,115,705</b>	<b>▲3,464,654</b>	<b>▲3,519,643</b>	<b>▲3,594,011</b>	<b>▲3,593,778</b>	<b>▲3,538,141</b>	<b>▲3,463,531</b>	<b>▲3,397,919</b>	<b>▲3,211,798</b>	<b>▲3,149,795</b>

補てん財源	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度	38年度
補てん可能額	3,467,606	4,327,416	3,436,291	4,139,877	4,651,937	4,848,662	5,026,838	5,131,702	5,176,114	5,247,216	5,282,258	5,283,311	5,392,319
補てん使用額	2,869,846	3,360,588	2,416,510	3,115,705	3,464,654	3,519,643	3,594,011	3,593,778	3,538,141	3,463,531	3,397,919	3,211,798	3,149,795
内部留保資金	597,760	966,830	1,019,780	1,024,172	1,187,283	1,329,019	1,432,826	1,537,924	1,637,973	1,783,685	1,884,337	2,071,513	2,242,524
企業債残高	74,243,337	71,319,477	69,390,658	67,087,463	64,282,694	61,584,427	58,956,431	56,460,538	54,225,236	52,033,195	49,918,875	47,999,132	46,203,767
1人当たり企業債残高	415	397	387	374	359	344	329	316	305	293	282	272	263

●経営に関する重要指標	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度	38年度
1. 經常収支比率	104%	111%	98%	105%	112%	113%	114%	115%	114%	114%	113%	112%	111%
2. 資金残高対事業収益比率	21.6%	20.1%	26.9%	26.0%	25.3%	26.6%	27.3%	28.1%	29.3%	31.0%	32.3%	35.0%	37.7%
3. 経費回収率	85.5%	105.7%	105.5%	110.9%	111.7%	100.8%	101.1%	101.0%	100.6%	100.1%	100.2%	101.5%	100.2%
4. 企業債残高対事業収益比率	1144%	976%	1126%	993%	893%	866%	834%	809%	792%	772%	761%	749%	735%

## 今後のスケジュール

- \* **11月4日** **第3回審議会**
- \* **11月下旬** **第4回審議会**  
**(経営戦略案審議)**
- \* **29年1月** **市民政策コメント**
- \* **29年2月** **第5回審議会**

※審議の状況により、開催日程等を変更する場合があります。予めご了承ください。